

公表 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	PYT-びゅっと-		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間が、こどもにわかりやすく 構造化された環境になっている	色やアラームによる時間帯の区切りや 写真やイラストを用いたスケジュールの提示	理解度に合わせた個別対応など
2	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日 行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有し ているか。	職員が感じたことをその日の終礼で共有できるように 環境づくりをしている。	疑問に感じたことなどをすぐに質問できるように職員 が抱え込まないような環境づくり
3	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必 要な訓練を行なっている。	実際に児童と指定避難先までの移動をするや 災害時の食事を想定した非常食体験会などの実施	予告なしの突発的事態を想定した訓練など 実際に発生した時を想定した訓練の実施

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこ どもと活動する機会が設けられていない。	地域住民招待は断られることもあるので、どのようにきてい ただくか課題	今年4月にイベント開催予定
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー ニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機 会等が少ないこと	個別でモニタリング時や親子交流時にしかできていない	学習会という形で今後開催していきたい。
3	また、きょうだい向けのイベントの開催等により、 きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きよ うだいへの支援がなされていない。	保護者向けの会を優先して開催し、事業所に対して保 護者からのご理解を得ることを優先していたため。	保護者から十分に事業所に対する理解を得られるように発 信を日々意識してしていく。

公表 等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 PYT-ぴゅっとー

公表日 2026/2/24

利用児童数 7

回収数 7

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	85.7%			14.3%		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思	100%					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。	100%					
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援	100%					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合	100%					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分	85.7%			14.3%		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提	100%					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思います	100%					
保護者への説明等	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと	71.4%	14.3%		14.3%		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ	100%					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)	57.1%	14.3%	14.3%	14.3%		ペアレントトレーニングは個別にはモニタリング時や親子交流時にはしているが、学習会を今後していきたい。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況に	100%					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	85.7%			14.3%		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流	57.1%		14.3%	28.6%		家族支援では、保護者会を年に数回行い、保護者同士の交流も含め、職員との関係性の構築や家庭での対応の提案等を行なっている
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されている	85.7%			14.3%		
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると	100%					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制	85.7%			14.3%		

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	85.7%			14.3%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル	57.1%			42.9%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓	71.4%			28.6%		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、	85.7%			14.3%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事	85.7%			14.3%		
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	71.4%			28.6%		
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	71.4%	14.3%		14.3%		
	29	事業所の支援に満足していますか。	85.7%	14.3%			様々な施設を見学・利用してきましたが その中でもとても丁寧に療育をしていただ いていると思います。	ご評価いただきありがとうございます。 今後もご満足いただけるように努力して いきます。

公表 発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		PYT-びゅっとー				公表日	2026/2/24
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	42.9%	57.1%			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	視覚支援を行っている。危険がないよう見渡せるようになっている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	71%	29%			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	85.7%	14.3%			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	各職員が多様な研修を自発的に受けている。	研修費の拡大してほしい。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	支援の立案・計画に関しても、職員全員で話し合い、日々改善がなされている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	児発管が中心となり、各職員が自主的に療育を行なっている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	85.7%	14.3%		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%		よく話し合いができる職場なので情報共有がしやすい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	85.7%	14.3%		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		相談支援員との情報共有を密に行なっている。事業所での様子を見学してもらい、客観的な視点での助言等を仰ぐことも積極的に行なっている。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%		担当者会議は主体的に会場提供や日時調整をおこなっています
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	86%	14%		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	57%	43%		周年祭を利用して地域の方と関わる機会を作る予定
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		ご家族と話をできる時間を大事にしている
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%		家族支援では、保護者会を年に数回行い、保護者同士の交流も含め、職員との関係性の構築や家庭での対応の提案等を行なっている	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%		積極的に保護者会を行なっている。多様なテーマで開催することで、保護者が興味をもって参加することができている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	職員間の情報共有が行えているので、ご家族への報告もしやすい。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	地域に向けて「感謝カードを贈る」という取り組みで、開けた事業運営を行なっている。	地域に開かれる部分は、お誘いをし断られることもあります。今後どのように開拓していくかが課題です。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	避難訓練は定期的に行われており話し合いもしっかりされている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	85.7%	14.3%		服薬はシートに記入されているが、処方箋があるとより分かりやすい。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	食物アレルギーに関しては、食器や食事スペースを分けたり、調理イベントの際には、アレルギー食物を避けている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	定期的な研修・訓練により、安全対策に関する危機管理意識の共有が行われている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	86%	14%		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%		

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	PYT-ぴゅっとー		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間が、こどもにわかりやすく 構造化された環境になっている	色やアラームによる時間帯の区切りや 写真やイラストを用いたスケジュールの提示	理解度に合わせた個別対応など
2	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日 行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有し ているか。	職員が感じたことをその日の終礼で共有できるように 環境づくりをしている。	疑問に感じたことなどをすぐに質問できるように職員 が抱え込まないような環境づくり
3	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必 要な訓練を行なっている。	実際に児童と指定避難先までの移動をするや 災害時の食事を想定した非常食体験会などの実施	予告なしの突発的事態を想定した訓練など 実際に発生した時を想定した訓練の実施

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこ どもと活動する機会が設けられていない。	地域住民招待は断られることもあるので、どのようにきてい ただくか課題	今年4月にイベント開催予定
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレ ーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機 会等が少ないこと	個別でモニタリング時や親子交流時にしかできていない	学習会という形でを今後開催していきたい。
3	また、きょうだい向けのイベントの開催等により、 きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きよ うだいへの支援がなされていない。	保護者向けの会を優先して開催し、事業所に対して保 護者からのご理解を得ることを優先していたため。	保護者から十分に事業所に対する理解を得られるように発 信を日々意識してしていく。

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 PYT-びゅっとー

公表日 2026年2月24日

利用児童数 25

回収数 14

	チェック項目	ご意見				ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	92.9%		7.1%		育休から復帰するスタッフがいますので今後は安心していただけたと考えております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	92.9%	7.1%			
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	92.9%			7.1%	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	92.9%			7.1%	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	28.6%	28.6%	7.1%	35.7%	4月に地域交流イベントを開催予定しておりその際に機会を持ってないか検討中
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	92.9%	7.1%			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	85.7%	7.1%		7.1%	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	92.9%	7.1%			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	85.7%	14.3%			
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%				困りごとがあると、すぐに相談に乗ってもらえ一緒に解決策を考えてくださり感謝です。 いつもご相談いただきありがとうございます。 困り事を共有していただくことで療育の質を高めることもできますのでこちらとしても助かっております。
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%				
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	92.9%	7.1%			
非常時等	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	92.9%	7.1%			
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	78.6%	7.1%		14.3%	
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	85.7%	7.1%		7.1%	

の 対 応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	85.7%	14.3%			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	92.9%		7.1%		LINEや連絡帳、送迎時の引き継ぎなどで確実に連絡をできるようにしていきます。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%				先生方みなさまにいつも手厚くサポートしていただけて安心してお任せできます。ありがとうございます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	85.7%	14.3%			
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%				人手が足りなくて安全に預かれないと言われました。会社として新しい施設の立ち上げばかりせず既存の施設に通っている子どもたちを大事にしてほしい、現場の先生たちが困っていると言ってるなら人件費を増やすなど対策を講じるべきだと思います。あと重度障害の子を排除しようとする会社の方針にも納得できません。
							悲しい思いをさせてしまい申し訳ありません。店舗の事を考えていただきありがとうございます。職員の家庭の事情や働き方を考えつつ、どのお子さんもケガなく安全に過ごせるように支援できる場所でありたいと考えています。安全にご利用できる日はご案内させていただきます、成長に寄り添わせていただきたいです。

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	PYT-びゅっとー		公表日 2026年 2月 24日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	75%	25%		育児休暇時や介護休暇などの長期的なスタッフ補填が課題。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	児童の特性に応じた環境づくりを行うことができている。仕切りを使ったり、別スペースでの活動を行うことで、個別療育を行うことができている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	88%	13%	夏休みや状況に応じてお迎えを10時からスタートにすると余裕ができる。送迎者会議など話し合いの場を設けてもらえるのはとても良い情報共有に	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	88%	13%		研修を受ける予算拡大をしてほしい 研修費の拡大を望む
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	支援や療育に関しては、児発管が中心となり、個々に適した活動が行われている。また、各職員が自主的に療育方法を工夫し、さらなる向上に繋がることができている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	88%	13%		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%		
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100%	0%		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	相談支援員と情報共有を密に行うことができる。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	88%	13%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	学校行事や時間割を把握することで、スムーズな送迎が行われている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	88%	13%		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	75%	25%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	88%	13%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%		ペアレントトレーニングは個別にはモニタリング時や親子交流時にはしているが、学習会を今後していきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	保護者からの相談や児童からの要望に応じて、日々の療育を改善することができる	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	お便りなどの情報発信もしっかり行われている		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%		地域住民招待は断られることもあるので、どのようにきていただくか課題	
	非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
		47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
		48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		
		49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%		
50		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	避難訓練や災害時訓練、不審者訓練などを年に何度か行っていることで全職員の意識の向上と、児童に対する非常時の対応を把握、改善することができている。		
51		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%			
52		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%			
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%				
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%				

公表 保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	PYT-ぴゅっと-		
PYT-ぴゅっと-	2026年 2月 1日	～	2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日	～	2026年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	2026年 2月 1日	～	2026年 2月 15日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができています。	訪問支援の報告などもあり、保護者と会話する機会が増えていること日頃から密な連携を意識し保護者との関係を気付けるようにスタッフが意識している為	日頃から保護者との連携を密にしていく為に連絡を取る機会を増やしたり、保護者会なども定期的に開催していきたい。
2	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されている。	デイサービスの研修と兼ねて店舗内研修を開催している。スタッフ個人で気になる研修の受講をしている。管理者から各スタッフへ特定の研修への参加を促すこともある。	専門性を高めていく為の研修の受講をより推奨していきたい。訪問支援に関する研修を行い、スタッフの質の均一化を図っていきたい。
3	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	訪問支援に行ったスタッフから、店舗のスタッフへ口頭での様子の共有は行なっている。訪問先の教員の方へも訪問の際に時間があれば振り返りの共有を口頭で行うようにしている。	様子の共有や、支援の提案などについての相談が密に行えるようにして質の高い記録が製作できるようにしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先によっては児童の様子の共有に満足頂けていないところがある。	訪問時に口頭での共有の時間がスタッフや訪問先の都合で満足にとれないところがある事	なるべく訪問先と会話する時間がとれるように予定に組み込んでいく。実際にこちらが支援している様子を逆に訪問できる機会を設ける。
2	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が少ない。	個別でモニタリング時や親子交流時にしかできていない	学習会という形で今後開催していきたい。
3	人員配置の見直しで保育所等への訪問支援は一時休止となること	訪問支援事業にも安定して人員が割ける体制が出来ていなかった。	増員や業務分担などを含めて人員配置の見直しを行なっていく予定

公表 からの保育所等訪問支援事業所評価の集計結果

事業所名	PYT-びゅっとー				公表日	2026年 2月 24日		利用児童数	6	回収数	4
	チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	100%									
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	100%									
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	100%									
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	100%									
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	75%	25%			限られた人数の中で運営されておられると思いますが、訪問支援まで行っていただき感謝いたします。	お褒めいただきありがとうございます。				
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%									
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%									
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	75%			25%						
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	75%	25%								
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%									
保護者への説明等	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	100%									
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	75%	25%								
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%									
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	50%	25%		25%						
	15 必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができていると思いますか。	100%									
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%									
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%									
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%									
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%									
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	100%									
非常時等の対応	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	75%			25%						
	22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	75%	25%			お忙しい中でも時間を見つけて、こちらの予定に合わせて毎回丁寧な共有をしてもらえるので、子供の学校での様子がわかり安心できます。	安心していただけてよかったです。				
	23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	75%	25%								
	24 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%									
	25 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	75%			25%						

満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%					
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	100%					
	28	事業所の支援に満足していますか。	100%				<p>始まった当初は、担任先生が忙しく、療育の先生とお話する時間を取ってもらうことが難しいようで、本人の様子を共有してもらっているのか分からなかったり、担任の先生が子どもへの対応でどのようにしたらいいのかのやり取りが難しい状態だった印象を受けたが、学期が変わってから少しずつ連携を取ってもらっていたように思います。</p> <p>訪問支援がお休みされるとのことで大変困っております。人員などもあるかと思いますが、びゅっとの先生方と学校と家庭が連携できていることで、子供が安心して過ごせています。訪問支援の再開をなにとぞよろしくお願いいたします。</p>	<p>こちらの都合で訪問支援が休止になり申し訳ありません。</p> <p>再開の目処が立ちましたらまたご連絡させていただきます。</p> <p>休止中も学校や家庭との連携はしっかりととっていきたく考えておりますのでよろしくお願いいたします。</p>

公表

問先施設からの保育所等訪問支援事業所評価の集計結果

事業所名		PYT- びゅっとー			公表日	
PYT-びゅっとー		利用児童数			2026年	2月 24日
					6	回収数 5
チェック項目		はい	どちらとも	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	60%	40%			
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	60%	40%			
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	80%	20%			
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	40%	40%	20%		
5	事業所からの支援に満足していますか。	40%	60%			
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
<p>デイサービスでの様子や学校の様子を共有できたことがありがたかったです。ありがとうございました。</p>				<p>児童の一貫した支援の為に今後も何かありましたら、こちらから共有をお願いすることもございます。よろしく申し上げます。</p>		

公表

保育所等訪問支援事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
PYT-びゅっとー		2026年 2月 24日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
営 ・ 体 制 整	1 訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	87.5%	12.5%	各保育園・小学校などの機関に対して、職員は一生懸命メールなどでやり取りをして日程調整するよう工夫している。	
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	87.5%	12.5%		
業 務 改 善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	年に数回行われる面談で、振り返りや業務に関する向上の相談や提案等がある。	
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	5 従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75%	25%		
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	62.5%	37.5%		
適 切 な 支 援 の 提 供	8 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	100%	0%		
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	87.5%	12.5%		
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	100%	0%		
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	87.5%	12.5%		
	12 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	87.5%	12.5%		
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	87.5%	12.5%		
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	87.5%	12.5%		
	17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	100%	0%		
18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	100%	0%			
19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	訪問先や保護者等には密な情報共有や相談等がされており、次回への改善や別視点での支援に活かされている。		
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%			

関係機関や保護者との連携	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	87.5%	12.5%	児発管が中心となり、外部との連携が積極的に行われている。また、そこで話し合われた情報を全職員が共有し共通認識として支援に活かすことができている。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	50%	50%	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	62.5%	37.5%	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	75%	25%	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	87.5%	12.5%	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	モニタリングを通じた説明を含め、LINEや送迎時での保護者から相談に応じ、それらを訪問支援に活かすことができている。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	75%	25%	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	75%	25%	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%	0%	訪問先では、担任の先生をはじめ、支援担当の先生や教科担任の先生方からの情報共有を密に行なっている。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	62.5%	37.5%	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%	0%	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	75%	25%	
42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		

非常時等の対応	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全対策や緊急時の対応や研修・訓練などを頻繁に実施できている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%		